

伊集院保健所感染症情報

2026年第37週（令和8年9月7日～令和8年9月13日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令！：ヘルパンギーナ

管内流行発生警報発令中：A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報 基準値	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		第34週	第35週	第36週	第37週	先週からの増減	第36週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	67.50	80.00	84.50	115.50	↗	49.53	↗
インフルエンザ	30	10	10	1.00	0.50	2.00	4.50	↗	4.35	↗
COVID-19	—	—	—	0.50	0.50	0.50	0.00	↘	0.61	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.97	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	3.00	5.00	8.00	7.00	↘	2.39	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	3.00	3.00	1.00	↘	3.32	↗
水痘	2	1	1	0.00	3.00	1.00	0.00	↘	0.39	↗
手足口病	5	2	—	1.00	1.00	2.00	2.00	→	0.61	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.10	↘
突発性発しん	—	—	—	1.00	1.00	0.00	0.00	→	0.42	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	1.00	0.00	0.00	8.00	↗	0.42	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	0.00	4.00	3.00	↘	2.00	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 9月24日（木）から9月30日（水）は、結核予防週間、

呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間です。

結核は、日本国内においては令和3年以降低まん延国の水準を維持している一方で、高齢者等の高罹患率は継続しており、またわが国と交流のある諸外国の中には高まん延状態が継続している国も少なくなく、さらなる罹患率の低下に向け、結核予防対策の一層の推進を図ることが必要です。それに加えて、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを通じて改めて呼吸器感染症対策の重要性が認識されたところですが、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い、換気等の基本的感染対策や予防接種の重要性等、呼吸器感染症に関する知識の普及啓発を図っていく必要があります。

また、近年、肺非結核性抗酸菌症の罹患率が急速に増加しており、公衆衛生上の課題となっているところ、未診断の患者に適切な受療行動を促し、予後を改善するため、医療従事者及び国民に対する非結核性抗酸菌症に関する知識の普及を図っていく必要があります。

そのため、今年度から、「結核予防週間」及び「呼吸器感染症予防週間」と同期間に、「非結核性抗酸菌症啓発週間」を新設されました。

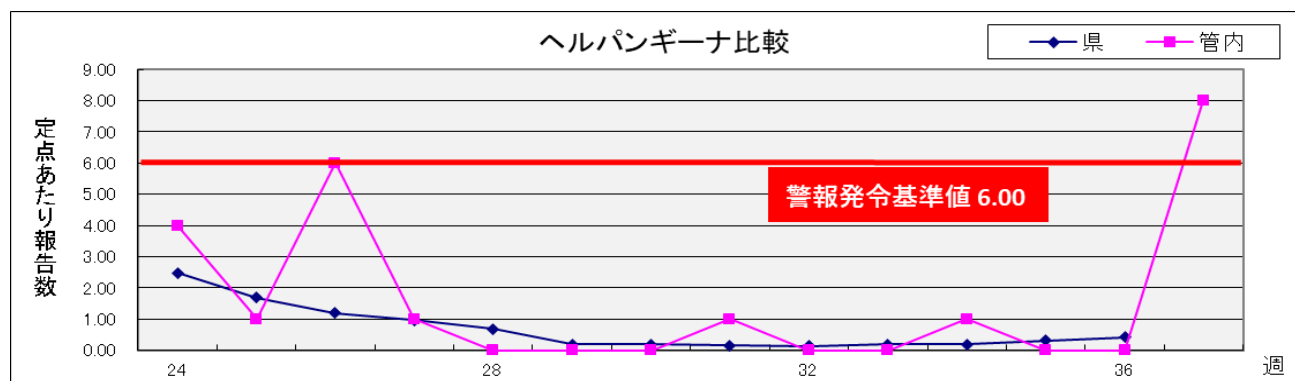
これらの週間について、社会全体で感染対策に取り組むという本週間の趣旨についての御協力をお願いいたします。

詳細 →



● 注意すべき感染症

・ヘルパンギーナ（流行発生警報発令！）



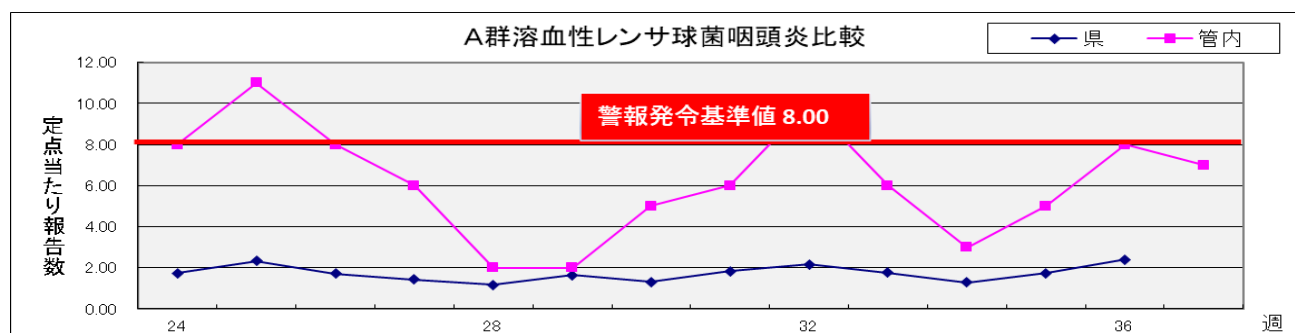
第37週の伊集院保健所管内におけるヘルパンギーナの報告数は、8人でした。年齢別では、1歳（3人）、2歳（2人）、0～5ヶ月・3歳・6歳（各1人）でした。

ヘルパンギーナは、発熱とともに、のどに痛みと水疱が現れる「夏かぜ」の一種です。

感染症発生動向調査によると、乳幼児を中心に5歳以下が全体の90%以上を占めます。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルス属のコクサッキーウイルスA群です。

主な症状は、感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復します。しかし、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。ヘルパンギーナは、発症後2～4週間頃まで便からウイルスが排せつされるため、発症した乳幼児のおむつ交換を行う時は、排せつ物を適切に処理し、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。また、咳やくしゃみをする際は、マスクを着用したり、ティッシュで口を覆うなどの咳エチケットを心がけましょう。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第37週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、7人でした。年齢別では、3歳・4歳（各2人）、1歳・6歳・10～14歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/7～9/13（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが1人（型不明）、流行性耳下腺炎1人、感染性胃腸炎1人、溶連菌感染症が1人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	流行性耳下 腺炎（おた ふくかぜ）	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症
日置市	0	1	0	1
いちき串木野市	1	0	1	0
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	1	1	1	1